

その他の取り組み

廃棄物適正処理

● PCB廃棄物処理

PCB廃棄物は、長期間保管を余儀なくされてきましたが、平成19年10月、淀屋橋駅および京橋駅電気室保管コンデンサを舞洲処理場にて処理しました。今後、淀PCB保管庫にあるコンデンサなど72台や、樟葉駅電気室の変圧器2台を平成20年秋以降順次処理していく予定です。



▲ PCB廃棄物処理

鉄道部材・ゴミ・乗車券のリサイクル

経年劣化や機能劣化により、交換が必要となったレール・古車輪・古機械器具、古蛍光灯などは、特定リサイクル会社に委託し、再生処理されています。

使用済みの乗車券は、成分分離行程を経た再利用可能な材料が、トイレ紙・ベンチ・建築用材などに再生されます。再生されたトイレ紙は京阪線全駅と大津線7駅のトイレで使用されています。

また、乗車券の再生紙が含まれる封筒も社内で使用しています。駅や事務所で使用するプリンタ用トナーは、再生トナーを使用し、不要になった容器についてもリサイクル会社に委託して再生処理を行い、リサイクルを進めています。

■ 整流器の解体



▲ 解体前



▲ 解体作業

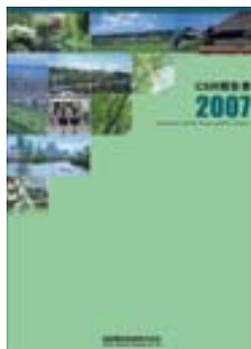


▲ 解体後

環境情報開示

CSR報告書の発行

当社の環境活動を多くの方々に知っていただくために、平成16年(平成15年度を報告対象期間)から「環境報告書」、平成19年(平成18年度を報告対象期間)からは「CSR報告書」を作成し、当社ホームページにおいて開示しています。



CSR報告書 ▶

美化活動

沿線の美化活動を重要な環境活動と捉え、「きれいな地域づくり」のため、積極的に清掃活動を実施しています。



▲ 「エコステーションプロジェクト」による樟葉駅周辺の清掃活動(5月、12月実施)



▲ 中之島地区の清掃活動(9月実施)

グリーン購入の推進

事業活動を行うための製品購入においては、「グリーン購入基本方針」に基づき、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入しています。現在、全社内的な取り組みとして、「文具類環境対応品の数値目標による購入」、「ペットボトルの再生ポリエステル繊維を使用した作業服の購入」などを推進しています。また、事業所別では、ノンフロン空調機や省エネルギー車の導入を推進し、環境負荷の低減に努めています。

エコオフィスの推進

当社では環境に配慮したオフィスの実現を目指し、本社事務所などの各オフィスにおいては、休憩時間中の消灯などによる電力使用量の削減、ミスコピーの再利用や両面コピーの利用促進による用紙削減に取り組んでいます。また、クールビズ・ウォームビズを実施しています。

「くらしのなかの京阪」(情報誌「K PRESS」に掲載)

平成18年6月から平成20年3月まで「京阪電車の環境への取り組み」を連載で掲載し、防音車輪の採用、ロングレール化の実施など当社の環境への取り組みをPRしました。



「くらしのなかの京阪」▶

環境活動のパネル展示

平成20年2月、門真リサイクルプラザや平成19年10月、寝屋川車両基地にて行われた「ファミリーレールフェア」で環境活動のパネルを展示しました。